

風水害

ゆとりをもって早めの避難を！

台風や豪雨の威力には計り知れないものがあり、人命や財産等に大きな被害をもたらします。自分の住んでいる地域の地形や水路をしっかりと把握し、日頃から気象情報には十分に注意しましょう。

大雨や台風のと きには…

●家の修理は事前に

屋根瓦のずれ、窓ガラスや外壁のひび割れ、雨どいのつまりなどを点検し、修理をしておきましょう。
また、ブロック塀や板塀も補強しましょう。



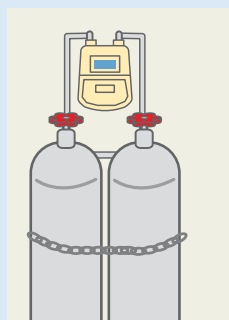
●気象情報をよく確認して

ラジオやテレビ、インターネットなどで台風の動きを確認しましょう。
そして、台風の勢力範囲に入る前に防災対策や避難準備をしましょう。



●家の周囲の安全対策

プロパンガスは針金や鎖でしっかり固定しましょう。風で吹き飛ばされやすい鉢植えなどは室内へ、不安定なアンテナも針金で固定しましょう。



●いつでも避難の準備を

日ごろから停電に備え、懐中電灯や携帯ラジオを準備しましょう。
また、いつでも避難できるように非常持出品を準備しておきましょう。



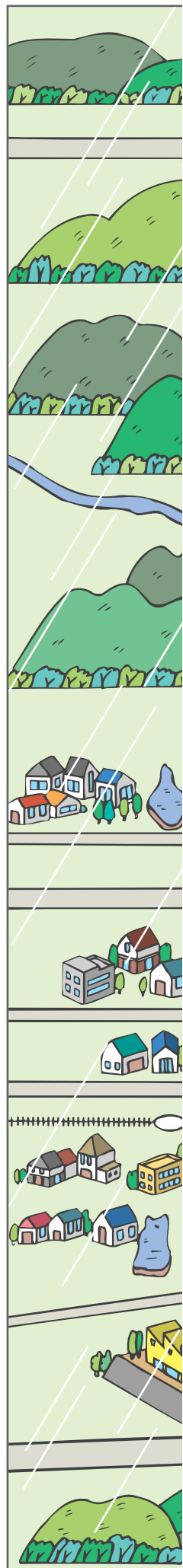
●浸水対策を万全に

床上浸水のおそれがある家では、食料・衣類など生活必需品を、水につからない高いところに移しましょう。水が入ってきそうな所には土のうなどを積んで防ぎましょう。



●避難するときの心掛け

避難するときは、二人以上ではぐれないようにロープで結び、特に子どもからは目を離さず、長い棒などを杖代わりにして水面下を確認しながら歩きましょう。



山間地

豪雨による土砂くずれ等の危険性あり。樹木の少ない地域は土石流にも注意。

キャンプ場

突然の増水や土砂災害にあう危険性が。特に上流にダムがある場合は要注意

河川の流域

豪雨や大量の流木等の滞留による越水により浸水の危険性あり。

平野部低地

川床との高低差のない低地では内水氾濫による浸水、道路の冠水の危険あり。

運転中

浸水により走行不能で動けなくなることも。浸水で孤立するおそれあり。